

学級担任の先生・社会科の先生に『税』の話題を提供！

～北見版～

くらしを支える税

第 20 号

平成 23 年 10 月

北見市租税教育推進懇話会

北海道オホーツク総合振興局 北見道税事務所からのお知らせ

「第 26 回 (平成 23 年度) **全道中学生の税をテーマとしたポスター**」を募集しています!!

第 25 回

北海道知事賞入選作品

北海道教育長入選作品

募集期間 : 23. 10. 3(月)~24. 1. 20(金)

対象者 : 北海道内の中学生

テーマ : 「税について」

※ 詳しくは北海道のホームページをご覧ください。

北海道

で

検索

第 26 回全道中学生の
税のポスター募集



北見市立光西中学校
仲野 有香 さん



北見市立東陵中学校
綿貫 幸絵 さん

第 2 学期が始まり、季節は秋。

スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、食欲の秋、みなさんは秋をどのように満喫されますか。

食欲の秋を選ばれた方へ、ちょっと目を世界に向けて、変り種の税を紹介します。

税のネタ帳 ～世界の変り種の税

今年の 9 月 1 日から、ハンガリー共和国では「メタボリックシンドロームの防止」を目的として、「ポテトチップス税」(通称)が導入されました。

この「ポテトチップス税」は、塩分の高いスナック菓子や高カロリーのスナック菓子・清涼飲料水やアイスクリームが課税の対象となっております。

当初は、名称を「ハンバーガー税」にして、ハンバーガーなどのファストフードも課税対象にする予定でしたが、最終的には外れました。したがって、名称は「ポテトチップス税」となったようです。

税額は、ポテトチップスが 1 kg 当たり 200 フォリント (日本円で約 82 円)、アイスクリームが 1 kg 当たり 100 フォリント (日本円で約 41 円) などだそうです。

これにより、スナック菓子は平均で 20% 値上がりするとのこと。

ハンガリー共和国政府は、男性の 4 人に 1 人は肥満と言われており、脂肪や糖分の過剰摂取で健康を害する国民が増えている現状から脱却するためには、新たな税 (ポテトチップス税) を導入することにより、国民の健康が増進されれば医療費などの国庫支出も抑えられ、さらに税収の増加が期待できるとしている。

もし、日本に導入されると今以上に「ゼロカロリー」商品が増えるかもしれませんね。

※ 「ハンガリー共和国」は、来年 (2012 年) 1 月 1 日から、国名を「ハンガリー」に変更予定です。

学級担任の先生・社会科の先生に『税』の話題を提供！

税のネタ帳(歴史編) ～明治時代：税のあれこれ～【国税庁メールマガジンより】

【明治6年の地租改正について】

- 教科書に載っている明治6年の地租改正について

地租は日本の近代化の財源として重要な役割を果たしてきましたが、現在、地租は残っていません。では、どのような変遷をたどったのか見てみましょう。



地租は、地租改正当時（明治6年）には地価の3%と決められましたが、明治10年には2.5%に引き下げられました。

明治17年に地租条例が出され、地価は固定化されますが、その後も数度の地価の見直しが行われています。

ちなみに、地租は改正後から明治13年まで租税収入中の80%以上を占めていました。また、明治31年まで国税収入のトップの座に君臨しておりました。

（明治32年からは地租に代わり酒税がトップとなります。酒税はいずれ解説します。）

日清戦争後の明治32年には、地価修正と同時に地租率の増徴（市街宅地は5%、それ以外は3.3%へ）が5年間という時限立法でなされています。

明治37年、38年には日露戦争の戦費調達のため再度増徴が行われました（38年段階で市街宅地20%、郡村宅地8%、その他の土地5.5%）。

なお、このころから地租の国税収入に占める比率が低下し、酒税や所得税が中心を占めるようになっていきました。

明治43年には、宅地に限って地価基準を賃貸価格に改める宅地地価修正と同時に、減租が行われました（田畑4.7%、宅地2.5%、その他5.5%）。

明治の終わりから日本では都市化が進み、現行地価との乖離が問題となってきました。

そこで、昭和6年の地租法により、地租は賃貸価格に課税することとなり、地租率も一律3.8%となりました（15年に2%、19年に3%、21年には4%と改定）。

このような曲折を経た結果、地租は昭和22年に地租法廃止とともに府県税へ移管され、昭和25年からは固定資産税となり、現在に至っています。

余談ですが・・・

明治6年から始まる地租改正で用いられていた単位は、「坪」とともに「畝（せ）、歩（ぶ）」が使用されていました。「坪」は主に市街地に使用され、「畝、歩」は、田、畑、山林などで使用されました。

また、近代初期の日本は、まだ農業国であったことから、土地の評価は農業地を標準としていたようです。ちなみに税務署等で使用していた路線価の単位面積は、昭和46年以前では「坪」単位で、昭和47年から「平方メートル」が使用されています。

※ 1町（ちょう）＝10反（たん）＝3,000歩

1坪＝1歩（約3.3平方メートル）、1畝＝約1アール

【お問い合わせ先】

北見市租税教育推進懇話会又は
北見税務署 税務広報広聴官

加賀 貢

北見市青葉町3番1号

Tel 0157-23-9160【直通】

『税に関する資料がほしい』

『「北見版 暮らしを支える税」でこんな話題を取り上げてほしい』など、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。